

欧州環境インサイト ニュースメール

EBSニュースメール2011年3月号

「欧州環境インサイト」ニュースメール2011年3月号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- 【太陽光:EU】欧州の太陽光発電設置容量、昨年は13GWで過去最高
- 【太陽熱:スペイン】三菱商事、スペインの太陽熱発電企業に出資
- 【風力:スペイン】イベルドローラ、再生可能エネルギー子会社を吸収へ
- 【風力:スペイン・インド】風力タービンのガメサ、インドに工場と開発拠点を開設
- 【低排出車:ドイツ・フランス】BMWとプジョー・シトロエン、ハイブリッド分野で合併
- 【低排出車:EU】スズキ、燃料電池スクーターで初の統一型式認証取得
- 【CCS:イタリア】エネル、イタリア初のCCSプラントを稼働
- 【廃棄物:EU】一般廃棄物、2009年に24%をリサイクル
- 【政策:EU】欧州委員会、2050年までの低炭素社会構築のロードマップ発表
- 【政策:英国】英政府、排出権の最低価格制を導入、低炭素の行動計画発表

--- ニュース -----

【太陽光:EU】欧州の太陽光発電設置容量、昨年は13GWで過去最高

欧州太陽光発電工業会(EPIA)は2月22日、昨年の欧州の太陽光発電新設容量(速報)は約13ギガワット(GW)で、前年比倍増以上の過去最高となったと発表した。初めて風力発電の新設容量を上回った。また、昨年末における累積設置容量は28GWに増加した。新設容量のうちドイツが6.5GW以上を占め、国別で最大。次いでイタリアとチェコがともに初めて1GWを突破した。これにベルギー、フランス、スペインが続いた。

ニュースリリース:<http://www.epia.org/index.php?id=31>

【太陽熱:スペイン】三菱商事、スペインの太陽熱発電企業に出資

三菱商事は2月25日、スペインの太陽熱発電事業に参入すると発表した。同国の再生可能エネルギー大手であるアクシオナ・エネルヒアの太陽熱事業子会社アクシオナ・テルモソーラーに15%資本参加する。併せて、三菱東京UFJ銀行などとともに事業資金の融資も実施する。アクシオナ・テルモソーラーはスペインに4基、合計200メガワット(MW)の太陽熱発電所を所有しており、このうち150MW分は既に稼働している。三菱商事とアクシオナは再生可能エネルギー分野で包括提携を結んでおり、今回の案件もその一環。

ニュースリリース:

<http://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/pr/archive/2011/html/0000011903.html>

【風力:スペイン】イベルドローラ、再生可能エネルギー子会社を吸収へ

スペインの電力大手イベルドローラは3月8日、風力中心に再生可能エネルギー発電を手

がける子会社イベルドロラ・レノバブレスを吸収する方針を明らかにした。同子会社の株式の約20%は上場されているが、イベルドロラは既存株主からすべての株式を買い取る方針。同子会社の株価が低迷している現在のタイミングで吸収し、事業統合する狙いとみられる。吸収後もイベルドロラ・レノバブレスの社名を維持し、独立した事業部門として事業を継続する。同社は風力発電で世界最大手。

ニュースリリース：http://www.iberdrola.es/webibd/corporativa/iberdrola?IDPAG=ENMODULOPRENSA&URLPAG=/gc/prod/en/comunicacion/notasprensa/110308_NP_01_FusionRenovables.html&WT.rss_a=IBERDROLAINITIATESNEGOTIATIONSFORMERGERWITHRENOVABLESSUBSIDIARY&WT.rss_f=notas_prensa&WT.rss_ev=c

【風力：スペイン・インド】風力タービンのガメサ、インドに工場と開発拠点を開設

風力タービン大手のスペインのガメサは3月9日、インドにタービンの工場と技術開発センターを開設すると発表した。インド北西部のグジャラート州に今年新設する工場ではまずブレードの生産を開始、来年には他の装置も生産する。来年までの投資額は約6,000万ユーロ。これに加え、南部のチェンナイに新設する技術開発センターでは、タービンの材料や生産プロセスに関する研究開発に取り組む。同社はインドを成長市場として重視している。

ニュースリリース：<http://www.gamesa.es/en/communication/news/gamesa-strengthens-its-presence-in-india-to-keep-up-with-growth-in-the-countrys-wind-energy-market.html?idCategoria=0&fechaDesde=&especifica=0&texto=&fechaHasta>

【低排出車：ドイツ・フランス】BMWとプジョー・シトロエン、ハイブリッド分野で合併

自動車大手BMWとフランス大手のPSAプジョー・シトロエンは2月28日、ハイブリッド技術分野で提携すると発表した。新設する合併企業がハイブリッドに関する部品や装置の研究開発と製造を担当し、両社に供給する。投資額は両社合わせて約1億ユーロ。研究開発はドイツのミュンヘンで、年内に約400人体制で開始する。製造はフランスのマルーズで2014年以降実施する。ハイブリッドに関する技術や部品を両社で共通化し、コストを引き下げる狙い。

ニュースリリース：http://www.bmwgroup.com/e/nav/index.html?http://www.bmwgroup.com/e/0_0_www_bmwgroup_com/investor_relations/corporate_news/news/2010/JV_PSA_PK_Genf.html

【低排出車：EU】スズキ、燃料電池スクーターで初の統一型式認証取得

スズキは3月9日、同社の燃料電池スクーターが欧州連合（EU）の統一型式認証を取得したと発表した。EU加盟国内での販売が可能となる。同社によれば燃料電池搭載車の欧州統一型式認証の取得は初めて。同社は現在、燃料電池開発企業である英インテリジェント・エナジーと共同で、英国国内で同スクーターの実証試験を実施しており、今後、試験の規模を拡大する。同スクーターは水素を燃料として発電した電力を使いモーターで動く仕組み。走行時には水しか排出しない。

ニュースリリース：<http://www.suzuki.co.jp/release/d/2010/0309/index.html>

【CCS：イタリア】エネル、イタリア初のCCSプラントを稼働

イタリア電力大手のエネルは3月1日、同国初の二酸化炭素（CO₂）回収・貯留（CCS）試験プラントが稼働したと発表した。同国南部のプリンディンにある石炭火力発電所に併設され、排煙から年間最大8,000トンのCO₂を回収する。化学物質を使って排煙中のCO₂を吸収する技術を採用している。石油・ガス大手のエニと共同で実施しており、回収したCO₂はエニが地層中に注入して貯留する。

ニュースリリース:

http://www.enel.com/en-GB/media/press_releases/release.aspx?iddoc=1641325

【廃棄物:EU】一般廃棄物、2009年に24%をリサイクル

欧州委員会は3月8日、EU加盟国における2009年の一般廃棄物(家庭および小規模事業所から出るゴミ)処理の統計を発表した。それによれば、リサイクルされたのは24%で、その他、埋め立て38%、焼却20%、肥料などへのコンポスト化が18%だった。リサイクル率が最も高かったのはドイツの48%で、ベルギーとスウェーデンがともに36%で続いた。逆に、最低はブルガリアのゼロで、全量が埋め立て処分された。

ニュースリリース:[http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?](http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=STAT/11/37&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en)

[reference=STAT/11/37&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en](http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=STAT/11/37&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en)

【政策:EU】欧州委員会、2050年までの低炭素社会構築のロードマップ発表

欧州委員会は3月8日、2050年までを見通した低炭素社会構築のロードマップを発表した。2050年の温暖化ガス排出量を1990年比で80~95%減らすために必要なコスト効率の高い方法を示したとしている。そのためには2020年段階で、現在目標としている20%減を上回る25%の削減が必要という。また、2050年目標の達成には今後、GDP比1.5%相当の追加投資が必要と試算している。

ニュースリリース:[http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?](http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/11/272&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en)

[reference=IP/11/272&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en](http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/11/272&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en)

【政策:英国】英政府、排出権の最低価格制を導入、低炭素の行動計画発表

英政府は3月8日、低炭素政策の実施スケジュールを定めた行動計画「カーボン・プラン」を発表した。CO₂の排出権取引では、今年4月までに最低価格導入のための法的枠組みをまとめる。また、6月までに電気自動車の充電インフラ整備の戦略を策定、CCS技術の実証プロジェクトの補助対象を年内に決定する。低炭素の発電所建設などに融資するグリーン投資銀行(GIB)については来年9月までに事業を開始する計画。

ニュースリリース:

http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn11_020/pn11_020.aspx

◆◆「EBS産業レポート」最新版 発売中◆◆-----

◎1「欧州の先進環境100社——最新市場動向と注目企業の横顔」 113頁

主な内容

- 欧州の先進環境企業100社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の2009年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の2009年実績と成長見通し
- 分野別の成長予測
- 洋上風力、太陽熱、波力・潮力発電の動向

◎2「欧州自動車産業の最新動向 2010-11年版——EUのエコカー戦略」 110頁

主な内容

- エコカーに対するEUの開発支援戦略
- EUと主要国の自動車関連環境政策—CO₂排出規制の概要など
- 欧州のエコカー市場の現状と見通し
- 欧州の大手乗用車メーカーのエコカー戦略
- 主要乗用車メーカーの過去1年間の展開と今後の見通し
- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計
- ロシアの自動車販売動向

○主要自動車メーカーの欧州・ロシアの生産施設立地

◎3「これだけは知っておきたいEUの環境規制 2010-11年版 108頁

主な内容

- EU2020年戦略における環境・気候変動政策のビジョン
- エコデザイン指令～新ErP(エネルギー関連製品)指令
- WEEE/RoHS指令および廃車指令の概要と改正の動向
- REACHの基本と実施状況
- 2020年とそれ以降に向けた温室効果ガス排出削減の目標と議論の動向
- 再生可能エネルギー促進指令
- 建物エネルギー性能指令
- 今後のEU排出権取引の制度詳細 ほか

価格：PDF版 395ポンド／485ユーロ／53,000円(全税別)
(ハードコピー+PDF版：480ポンド／590ユーロ／65,000円(全税別))

レポートの詳細に関しましてはこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.htm>

◇◆当ニュースメール配信サービス希望者募集中！◆◇-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
 - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承ください。
 - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◇◆当サービスのご利用に当たって◆◇-----

- ★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。
<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>
- ★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。
news@ebsukltd.com

発信元◇EBS(UK)Ltd.
1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM
ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: news@ebsukltd.com

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2011 掲載記事の無断転載を禁じます。
